

# 米「一時帰休」拡大

## 新型コロナ

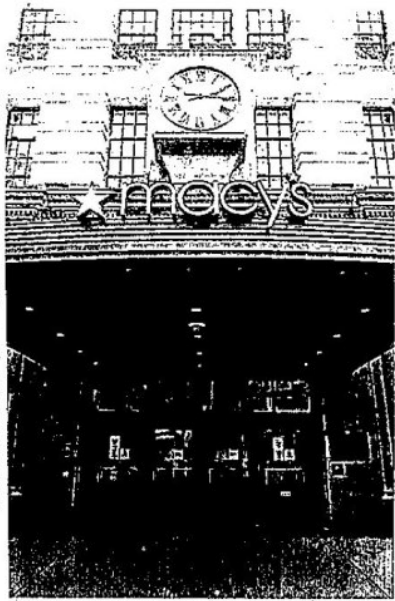
### 「最低限の労働力」に 小売りなど

【ニューヨーク＝小林泰明】新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大に連動して米国の雇用情勢が急速に悪化している。ホテルや外食が中心だった従業員の一時帰休の動きが、小売業界を筆頭に他業種にも広がり始めた。流動性の高い米国の雇用は景気動向に敏感な反応を示すが、日を追うごとに状況は深刻化している。(本文記事2面)

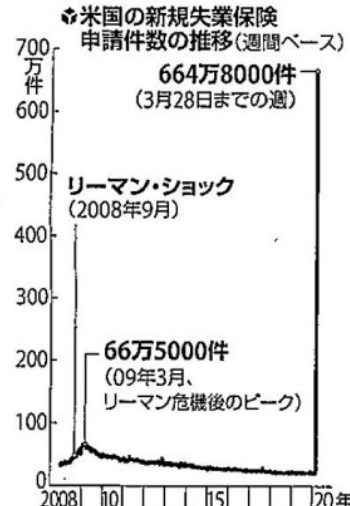
### 解雇に発展可能性も

■人材つなぎ留め 万人の従業員のうち、約8万店を閉鎖中の米百貨店大手メイシーズは3月30日、12万人超の従業員の大

半を一時帰休すると発表した。「売上げの大半を失っており、必要最低限の労働力に移行する」という。米衣料品大手キャップも、店舗閉鎖の影響で、米国内カナダの従業員の大半を一時帰休にする。対象は約13万人に上る。



店舗を閉鎖中の米百貨店大手メイシーズは大量の従業員を一時帰休にする。(ニューヨークで) 小林泰明撮影



米国の雇用問題は詳しい米人事労務管理コンサルタントの調査によると、一時帰休の対象になった人でも失業保険は申請できる。また、米国の一時帰休は主に無給ではあるが雇用関係は維持され、雇用関係をいったん解消してしまう一時帰休は、2月の雇用統計は、米国の景気動向は、あまり時間を置かずに雇用情勢に表れるとみられており、米労働省が毎月第一金曜日発表する米雇用統計は、市場が最も注目する経済指標の一つだ。

三ツ木氏は「今回、多くの米企業が一時帰休を選んでいるのは、状況が改善したらすぐに以前の状態に戻れるよう、これまで訓練してきた人材をつなぎ留めたい」とみている。日本や他国と比べ、米国の景気動向に応じて従業員数を調整することをためらわない企業が多い。米国の景気動向は、あまり時間を置かずに雇用情勢に表れるとみられており、米労働省が毎月第一金曜日発表する米雇用統計は、市場が最も注目する経済指標の一つだ。

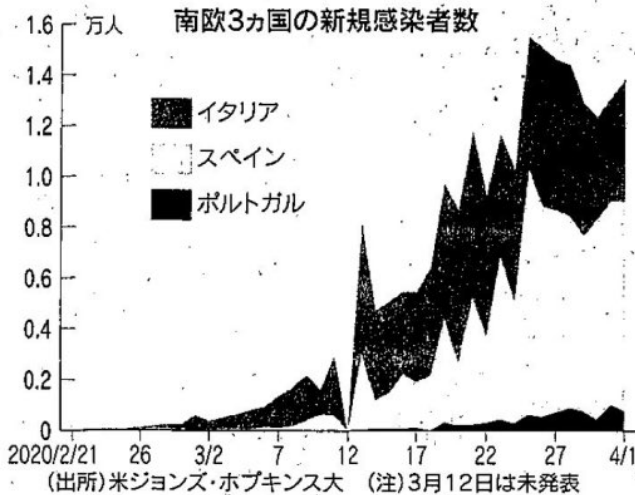
で感染が広がる前だったため、非農業部門の就業者数が前月比27万3000人増と、市場予想(17万5000人程度増)を大きく上回り、堅調ぶりを示した。

一方、仕事を失った人を一時的に吸収しようとする動きも出ている。アマゾン・ドットコムは、ネット通販の需要急増に対応するため、米国の物流拠点や配送を担う人材として、10万人を新たに採用する方針だ。ウォルマートも同様に、物流拠点などで15万人を採用する。

ただ、物流拠点で働く従業員にも感染の不安が広がっている。米CNBCテレビによると、3月30日には、ニューヨークにあるアマゾンの物流施設で感染者が見つかっただけでなく、従業員らも感染を求めて抗議活動を展開した。

これに対し、アマゾンが抗議活動を主導した従業員を解雇したことで、ニューヨーク州の司法当局が「非人道的だ」と非難するなど混乱が生じている。

調査会社オックスフォード・エコノミクスのクレグ・リー・ダコ首席エコノミストは「経済活動が突然止まり、失業者が急激に増える状況は戦争時の環境に似ている。今後、失業率は急激に上昇し、経済の低迷がしばらく続く。以前の状況に戻るとは、一年以上かかるだろう」と話す。



# イタリア感染「近く安定」

## WHO 世界では90万人超え

【パリ＝白石透野】新型コロナウイルスで1方3千人以上が死亡したイタリアで、感染拡大が鈍ってきた。感染者数の伸び率は3週間あまりで20%台から4.5%に落ち、世界保健機関（WHO）幹部は「近く安定する」との見方を示した。スペインも似た傾向にある。ただ感染者の全数を把握できておらず、第2波が起きる恐れも残る。

「イタリアの流行はまもなく安定するだろう」。WHOの緊急事態対応を統括するマイク・ライア

ン氏は3月30日、記者会見で述べた。イタリア国立衛生研究所のアルサフエッコ所長も4月1日「（感染者数の）伸びが横ばいになってきた」と語った。

感染症は拡大期に指数関数的に広がり、対策が効果を上げれば徐々に勢いを落とす。当日の感染者数を前日の数字で割った伸び率は、感染症がどの段階にあるかを示す指標の一つとなる。

イタリアでの伸び率は全土での外出制限を始め、3月10日前後は、20%

を超えていた。だが過去10日あまりは1桁に下がり、1日は4.5%だった。死者の増加率も外出制限が始まったころは30%前後で推移したが、1日は6%にとどまった。

イタリア政府は厳しい外出制限に加え、交通、農業など必要不可欠な分野を除く企業の活動も禁止する措置もとっている。人と人の接触が減り、拡大に歯止めがかかってきた可能性がある。

一方、米ジョンズ・ホプキンス大学の集計によると、世界の新型コロナウイルス感染者数は2日午後4時時点で93万7783人だった。国・地域別の感染者数では米国が21万6721人と最も多く、20万人を初めて超えた。

を越えていた。だが過去10日あまりは1桁に下がり、1日は4.5%だった。死者の増加率も外出制限が始まったころは30%前後で推移したが、1日は6%にとどまった。

### 国内の新型コロナウイルス感染者 (2日午後8時現在)

国内での感染者合計	2600
※中国帰国者、検疫官ら含む	(+183)
退院患者数	489
死者	71
北海道181、青森8、宮城12、秋田7、山形3、福島8、茨城43、栃木17、群馬20、埼玉103、千葉194、東京682、神奈川182、新潟32、富山8、石川15、福井30、山梨9、長野9、岐阜34、静岡14、愛知184、三重12、滋賀7、京都81、大阪278、兵庫164、奈良19、和歌山21、岡山7、広島6、山口6、徳島3、香川2、愛媛12、高知21、福岡90、佐賀3、長崎5、熊本15、大分29、宮崎3、鹿児島2、沖縄9	
クルーズ船感染者	721
退院患者数	619
死者	11

(注)単位は人、カッコ内は2日確認分

### クラスター 全国26カ所

厚生労働省は2日、同一の場所で5人以上の新型コロナウイルス感染者が発生したクラスター（感染者の集団）が、3月31日時点で全国14都道府県に26カ所あったと発表した。3月17日の前回公表時の8都道府県13カ所各1カ所だった。

所から拡大した。医療機関や飲食店で感染が広がっている東京都と、福祉施設などで集団感染が起きた兵庫県が各4カ所で最多だった。次いで北海道、群馬県、茨城県、千葉県、神奈川県、愛知県が各2カ所。宮城県、新潟県、岐阜県、京都府、大阪府、大分県は各1カ所だった。